

**製品名:** KLK2 マウスモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMM82805

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	28.6kDa

## 抗原情報

遺伝子名	KLK2
別名	hK2; hGK-1; KLK2A2
遺伝子 ID	3817.0
SwissProt ID	P20151
免疫原	大腸菌で発現したヒト KLK2 (AA: 25-261) の精製された組み換え断片。

## 背景

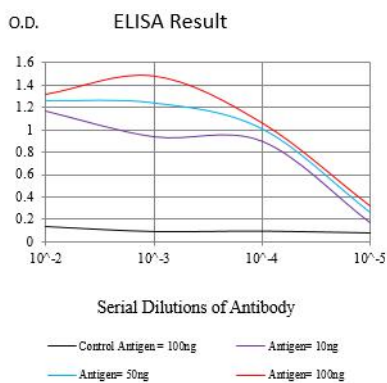
この遺伝子は、顆粒状カリクレインタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。カリクレインは、19 番染色体上にクラスターを形成するセリンプロテアーゼのサブグループです。このファミリーのメンバーは、多様な生物学的機能に関与しています。この遺

伝子によってコードされるタンパク質は、アルギニン残基を選択的に切断する、高活性のトリプシン様セリンプロテアーゼです。このタンパク質は主に前立腺組織で発現し、プロプロスタット特異抗原を酵素活性型に切断する役割を担っています。この遺伝子は前立腺腫瘍細胞で高発現しており、前立腺癌リスクの予後因子となる可能性があります。選択的スプライシングにより、コーディング型とノンコーディング型の両方の転写産物バリエーションが生じます。

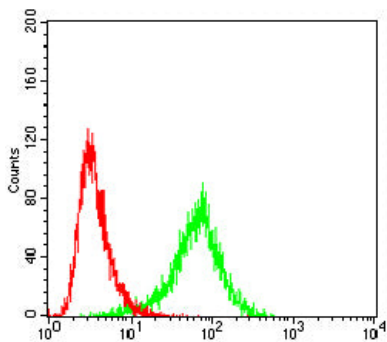
## 研究分野

-

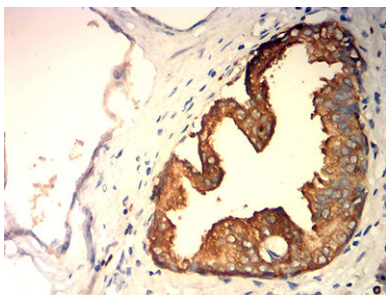
## 画像データ



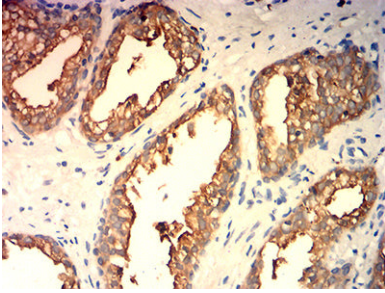
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



KLK2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



KLK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。



KLK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。